



⑨ 愚陀佛庵跡
明治28(1895)年に漱石と子規がともに暮らした上野邸の離れはここに建てられていた。愚陀佛庵は昭和20(1945)年7月の松山大空襲で焼失。現在は、子規記念博物館の常設展示室内に、1階部分が復元されている。

全体マップ.P1-D-3



カラーラインに注目!



⑩ 俳誌「ほととぎす」創刊の地

俳誌「ほととぎす」は柳原極堂によって明治30(1897)年に誕生。のちに高浜虚子が後を継ぎ、「ホトトギス」と名を変えて現在に引き継がれている。

全体マップ.P1-E-3



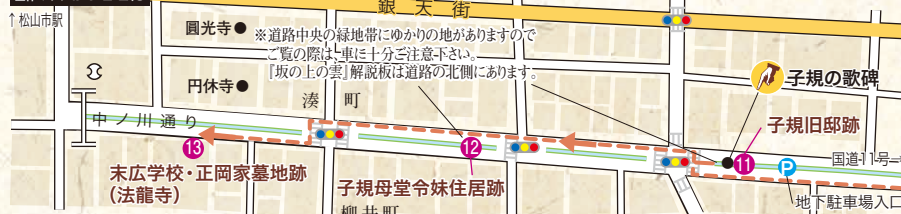
⑩から⑪まで徒歩5分

⑪ 子規旧邸跡

子規が2歳から上京するまで過ごした住居跡。小説には敷地の広さ180坪ほどとある。隣には、わが国最初の子規の歌碑が建てられている。



全体マップ.P1-E-2.3



⑫ 子規の歌碑

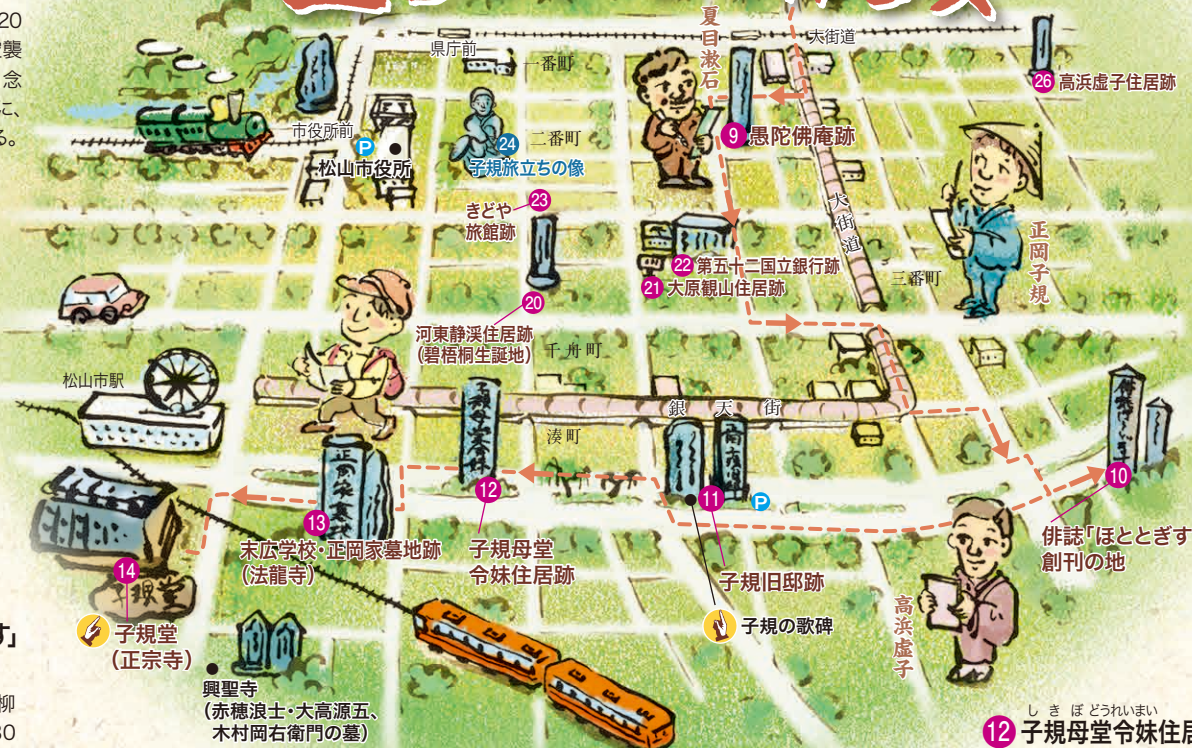
昭和26(1951)年に建てられた歌碑には、「くれなゐの梅散るなへに故郷につくしつみにし春し思ほゆ」が刻まれている。

- 小説ゆかりの地(小説に登場する内容)
- 小説関連地
- その他の地域資源
- 寄り道チェックポイント

のぼさんと歩く

坂の上の雲マップ

ぶらっと城下コース



「松山市駅」に戻ったらゴール!
「ゆ〜湯〜道後コース」へは、「松山市駅」から、市内電車で道後方面へ!

- 松山市駅→道後公園 市内電車で19分
- ※坊っちゃん列車は、道後公園には停車しません。道後温泉(駅)に停車しますのでご注意ください。

ぐるっと城下コースゴール!

⑭ 子規堂(正宗寺)

子規が上京する17歳まで暮らしていた湊町の住居を正宗寺の傍らに復元。当時をイメージさせる机などが置かれた書斎には、遺墨や遺品など子規の資料が展示されている。

🕒 9:00~17:00 (入館は16:40まで)
📞 089-945-0400

Check 正宗寺境内

正宗家累代の墓をはじめ、子規の遺髪を納めた埋髪塔や、内藤鳴雪の髻塔(ひげとう)などがある。



全体マップ.P1-E-2



⑬から⑭まで徒歩3分

⑬ 末広学校・正岡家墓地跡(法龍寺)

正岡家累代の墓は法龍寺にあったが、昭和2(1927)年に正宗寺に移された。寺に設けられた寺小屋式の小学校である末広学校(のち智環学校と改称)には幼い子規も通った。



⑫から⑬まで徒歩2分

⑪から⑫まで徒歩2分